



# 「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 キャリア教育委員会  
Vol.3 令和4年9月12日

9月1日(木)の午後、2年の医療専攻者44名で、「魚沼の最先端医療にふれる」というテーマで、魚沼基幹病院の役割と、そこで働く医療スタッフの仕事を知る目的で魚沼基幹病院に行ってきました。

鈴木榮一病院長のお話の後、看護師の方、臨床検査技師の方等、専門職の方から各分野の説明を受けました。その後、病院の様々な施設を見学させていただきました。

日常業務で大変お忙しい中、将来、地域の医療を支える若者を大事に育てていこうというスタッフの方々の暖かい気持ちが感じられた研修となりました。

## 【講義1】「魚沼基幹病院における救命救急センターの機能と役割」について

### ○魚沼医療圏について

新潟県は、比較的専門性が高い保健医療活動が完結出来る医療圏として、全県を下越、新潟、県央、中越、魚沼、上越、佐渡の7つの区域に分けている。

魚沼医療圏は、県内で最大の面積(約21%)、人口では、県の7.5%(約17万6千人)をカバー。

### ○魚沼基幹病院の機能と役割

魚沼医療圏の中核として、高度先進医療、救急医療、災害医療を担う。

魚沼基幹病院を中心に、機能分担により、地域完結型医療の実現を行う。

多様性、複雑化するニーズに対応できる医療人の育成を行う。

### ○魚沼基幹病院における救命救急センターの役割

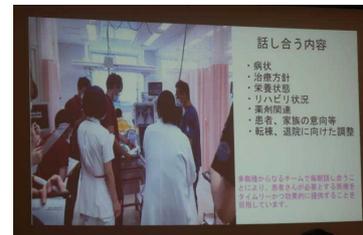
救急医療と集中治療を必要とする患者への対応

救命救急センター看護師が対象とする患者は、潜在的な、あるいは実在する生命を脅かす健康問題のリスクが高い患者のため、患者の些細な変化に鋭敏であることが求められる。

### ○救命救急センターの日常

多職種からなるチームで、毎朝、話し合うことにより、患者さんが必要とする医療をタイムリーかつ効果的に提供することを目指している。

患者と家族を支える、患者さんの日常を整える、ことを大切にしている。



## 【講義2】新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院 検査科紹介

- ・国際規格 ISO15189 の認定施設で国際的基準で臨床検査を実施できる施設。全国で273施設、県内には8施設、その中の一つ。
- ・県内の医療施設では、一番最初にPCR検査の運用をスタート(2020.4.8)させた。
- ・臨床検査技師27名、看護師2名が在籍。
- ・平日、休祝日はもちろん、365日24時間の検査体制。まれな病原体検査への対応もできる。
- ・365日24時間、輸血(緊急を含む)に対応する体制
- ・脳死判定のため、臨床検査技師が脳波検査を実施。
- ・病理医と共に解剖に立会うことも。術中迅速病理診断
- ・臨床検査技師は、検査室にこもって、検査しているわけではない。
- ・臨床検査技師の仕事は、施設ごとに仕事の内容や医療レベルによって、業務内容も変わってくる。



### 【講義3】リハビリテーション技術科部門の紹介

- ・理学療法士（PT）16名、作業療法士（OT）9名、言語聴覚士（ST）4名 が在籍
- ・魚沼基幹病院の特徴
  - ①魚沼地域の一刻を争う重篤な救急患者に対応 → 超早期からのリハビリテーションを実施
  - ②魚沼医療圏唯一の心大血管疾患リハビリ：心臓のリハビリ実施施設
  - ③様々な評価機器、訓練機器を備え、新潟大学地域医療教育センターと連携し、学術活動も積極的に実施：リハビリテーション医療の発展に貢献
- ・医師、看護師等と共に情報の共有と検討（チーム医療）

Qリハビリをしたくないという患者さんの場合、どうするのか？  
Aリハビリはお薬と一緒に、良くなるために必要なもの。  
痛くてやりたくないのか、動かたくないのか、よく聞いて、よく説明をする。



### 【生徒の感想】

- ・魚沼基幹病院があるべき理由がわかった。そこに見合う施設・スタッフの充実ぶりには目を見張った。看護師になりたい、もっと勉強しなければの想いがとても強いものになった。
- ・今回、魚沼基幹病院を見学して、今まで他の病院の見学をしたときには分からなかったことや、調べても分からなかったことなどたくさん新しいことを知ることができて良かったです。特に印象に残ったのは、救急センターの様子やヘリポートを見たことです。色々な医療ドラマでよく見る機器や物も見ることができました。今回の講義や見学を、進路を決めるときに生かせるようにしたいと思いました。
- ・今回の講演と見学で、魚沼基幹病院の役割や重要性がとてもよく分かりました。医療が不足している新潟、特に魚沼市において、なくてはならないものだと思います。魚沼基幹病院は、様々な人材育成を担っていて、様々な高価な機械や設備が用意されていて、すごいなと思いました。他にも医療の現場をより効率的に動かせるように色々な医療分野の人が連携し作業する「チーム医療」にも特化しているそうです。
- ・魚沼基幹病院に実際に来て、本当にすごい技術や知識があるのだと思いました。採用人数は部門によってはすごく少ないと聞き、自分になりたいものになるにはやはり努力が必要と感じました。いろいろな知識を知って、たくさんの人を助けられる人になれるようにこれからも頑張っていきたいです。
- ・この見学で魚沼基幹病院は色々な部門の人が協力して医療をしているということが分かりました。一人の力では治せないのだからそれぞれ専門の人と一緒に対応していくのが大切なのだと思いました。

### 【見学内容】



臨床検査室  
検査機器が沢山ありました。



X線撮影、CT検査、MRI検査の他  
放射線治療も実施



病室前  
入口はプライバシー保護にも配慮



リハビリテーション室に案内



部屋にリハビリ中の人もいる中で  
説明を聞きました。



屋上のヘリポートにも行きました。





# 「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 キャリア教育委員会  
Vol.3 令和4年9月13日

9月1日(木)の午後、2年の医療専攻者44名で、「魚沼の最先端医療にふれる」というテーマで、魚沼基幹病院の役割と、そこで働く医療スタッフの仕事を知る目的で魚沼基幹病院に行ってきました。

鈴木榮一病院長のお話の後、看護師の方、臨床検査技師の方等、専門職の方から各分野の説明を受けました。その後、病院の様々な施設を見学させていただきました。

日常業務で大変お忙しい中、将来、地域の医療を支える若者を大事に育てていこうというスタッフの方々の暖かい気持ちを感じられた研修となりました。

## 【講義1】「魚沼基幹病院における救命救急センターの機能と役割」について

### ○魚沼医療圏について

新潟県は、比較的専門性が高い保健医療活動が完結出来る医療圏として、全県を下越、新潟、県央、中越、魚沼、上越、佐渡の7つの区域に分けている。  
魚沼医療圏は、県内で最大の面積(約21%)、人口では、県の7.5%(約17万6千人)をカバー。

### ○魚沼基幹病院の機能と役割

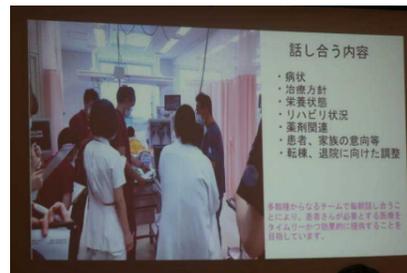
魚沼医療圏の中核として、高度先進医療、救急医療、災害医療を担う。  
魚沼基幹病院を中心に、機能分担により、地域完結型医療の実現を行う。  
多様性、複雑化するニーズに対応できる医療人の育成を行う。

### ○魚沼基幹病院における救命救急センターの役割

救急医療と集中治療を必要とする患者への対応  
救命救急センター看護師が対象とする患者は、潜在的な、あるいは実在する生命を脅かす健康問題のリスクが高い患者のため、患者の些細な変化に鋭敏であることが求められる。

### ○救命救急センターの日常

多職種からなるチームで、毎朝、話し合うことにより、患者さんが必要とする医療をタイムリーかつ効果的に提供することを目指している。  
患者と家族を支えること、患者さんの日常を整えることを大切にしている。



## 【講義2】新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院 検査科紹介

- ・国際規格 ISO15189 の認定施設で国際的基準で臨床検査を実施できる施設。全国で273施設、県内には8施設、その中の一つ。
- ・県内の医療施設では、一番最初にPCR検査の運用をスタート(2020.4.8)させた。
- ・臨床検査技師27名、看護師2名が在籍。
- ・平日、休祝日はもちろん、365日24時間の検査体制。まれな病原体検査への対応もできる。
- ・365日24時間、輸血(緊急を含む)に対応する体制
- ・脳死判定のため、臨床検査技師が脳波検査を実施。
- ・病理医と共に解剖に立会うことも。(術中迅速病理診断)
- ・臨床検査技師は、検査室にこもって、検査しているわけではない。
- ・臨床検査技師の仕事は、施設ごとに仕事の内容や医療レベルによって、業務内容も変わってくる。



## 【講義3】リハビリテーション技術科部門の紹介

- ・理学療法士(PT)16名、作業療法士(OT)9名、言語聴覚士(ST)4名が在籍
- ・魚沼基幹病院の特徴
  - ①魚沼地域の一刻を争う重篤な救急患者に対応 → 超早期からのリハビリテーションを実施
  - ②魚沼医療圏唯一の心大血管疾患リハビリ(心臓のリハビリ実施施設)
  - ③様々な評価機器、訓練機器を備え、新潟大学地域医療教育センターと連携し、学術活動も積極的に実施(リハビリテーション医療の発展に貢献)
- ・医師、看護師等と共に情報の共有と検討(チーム医療)



Q リハビリをしたくないという患者さんの場合、どうするのか?

A リハビリはお薬と一緒に、良くなるために必要なもの。  
痛くてやりたくないのか、動きたくないのか、よく聞いて、よく説明をする。

## 【生徒の感想】

・魚沼基幹病院があるべき理由がわかった。そこに見合う施設・スタッフの充実ぶりには目を見張った。看護師になりたい、もっと勉強しなければという思いがとても強いものになった。

・今回、魚沼基幹病院を見学して、今まで他の病院の見学をしたときには分からなかったことや、調べても分からなかったことなどたくさん新しいことを知ることができて良かったです。特に印象に残ったのは、救命センターの様子やヘリポートを見たことです。色々な医療ドラマでよく見る機器や物も見ることができました。今回の講義や見学を、進路を決めるときに生かせるようにしたいと思います。

・今回の講演と見学で、魚沼基幹病院の役割や重要性がとてもよく分かりました。医療が不足している新潟、特に魚沼市において、なくてはならないものだと思います。魚沼基幹病院は、様々な人材育成を担っていて、様々な高価な機械や設備が用意されていて、すごいなと思いました。他にも医療の現場をより効率的に動かせるように色々な医療分野の人が連携し作業する「チーム医療」にも特化しているそうです。

・魚沼基幹病院に実際に来て、本当にすごい技術や知識があるのだと思いました。採用人数は部門によってはすごく少ないと聞き、自分になりたいものになるにはやはり努力が必要と感じました。いろいろな知識を付けて、たくさんの人を助けられる人になれるようにこれからも頑張っていきたいと思います。

・この見学で魚沼基幹病院は色々な部門の人が協力して医療をしているということが分かりました。一人の力では治せないのもそれぞれ専門の人と一緒に対応していくのが大切なのだと思います。

## 【見学内容】



臨床検査室  
検査機器が沢山ありました。



X線撮影、CT検査、MRI検査の他  
放射線治療も実施



病室前  
入口はプライバシー保護にも配慮



リハビリテーション室に案内



部屋にリハビリ中の人もいる中で  
説明を聞きました。



屋上のヘリポートにも行きました。

#### [看護師]

- ・看護師になろうと思ったのはなぜか
- ・専門学校と大学で仕事内容や給料に違いはあるのか
- ・看護師の男女比はどれくらいか。また、男性看護師と女性看護師でする仕事のちがいはありますか
- ・コロナ禍で一番大変になったことはなんですか
- ・1日にどのくらいの患者さんが来るのか、またコロナ禍になって、患者数は変わったか
- ・認定看護師はどのくらいいるか、またどんな部門か
- ・毎年どのくらい新卒の看護師を採用しているのか
- ・ほかの病院では行っていないことは何か
- ・GCUで治療を要する場合、どれくらいで退院しますか
- ・長期休暇はありますか
- ・コロナ禍で患者数が増えて看護師さんの仕事が多くなっているとニュースで見たが、基幹病院ではどのくらいコロナ禍の影響が出ているのか。感染が拡大したら病院はどうなるのか？
- ・どの職種の人数が一番足りないか。
- ・職員寮に住む方は、急な要請などをされるのか。
- ・精神科の先生は患者とつきあっていく上で大切にしていることはありますか
- ・新人看護師の夜勤はいつからあるのか

#### [臨床検査技師]

- ・医療ドラマで違和感を感じることは、ありますか。
- ・ナイトドクター（夜専門の医者）は本当にいますか。
- ・色々な科から人が集められて新たなチームが結成されることはありますか。
- ・臨床検査技師の仕事は将来AIに取られる可能性はあるか？

#### [管理栄養士]

- ・管理栄養士として重要なことは何ですか
- ・管理栄養士として普段から私生活で心がけていることは何ですか
- ・一人の管理栄養士が何人の患者さんを受け持ちますか
- ・管理栄養士はどのくらいのチーム医療に参加しているのか

#### [救急救命士]

- ・患者さんと上手くコミュニケーションをとるコツや、接する時に気をつけていることは何ですか？
- ・部門ごとの連携はどうとってるか

- ・ドクターヘリはどのような状況の人が使うか
- ・たくさんの職種の人がいてよかったこと

〔作業療法士〕

- ・リハビリで思い通りに動いてもらえない患者さんに対してはどのような声をかけるようにしていますか。
- ・同じ症状でも具合によってリハビリの内容は変わりますか。
- ・地域完結型リハビリテーションとは何ですか。

〔助産師〕

- ・出産の立ち合いの時はどのようなことを心掛けているか。
- ・医療人の育成で意識していることは何ですか。
- ・がん患者へのサポートはどうしているか。
- ・専門研修プログラムとは何か。

〔診療放射線技師〕

- ・放射線技術科で働く方々が1日もしくは、1回で受ける放射線の量
- ・放射線を取り扱っていて怖くないのか
- ・新卒の方は毎年何人ぐらい入るのか
- ・放射線治療でも様々な治療機器がありますがどう使い分けているのですか

〔理学療法士〕

- ・魚沼だからできる医療体制はどのような形か。
- ・チーム医療で意見が食い違い失敗することはありますか？
- ・基幹病院全体の職員数はどのくらいですか？